資料１

令和７年度　吹田市乳がん検診実施状況

【用語について】

〇マンモグラフィ併用検診：乳がん（視触診・マンモ併用）検診。40 歳以上対象。視触診で異常がなければマンモグラフィを撮影し、2 人の医師の読影により検診結果の判定を行う。1 回/2 年受診。

〇視触診要精検：マンモ併用検診時、視触診の時点で要精検と判定されること。

〇初回・非初回：過去 3 年度以内に受診ありの場合は「非初回」、受診なしの場合は「初回」に分類。

【受診率の算出方法】

全国、大阪府と比較するため、国が示す算出方法に基づき算出。

〇対象者数＝当該市町村に居住地を有する各がん検診の対象年齢の全住民

〇受診率＝｛（前年度の受診者数）＋（当該年度の受診者数）－（前年度及び当該年度における 2 年連続受診者数）｝÷（当該年度の対象者数）×100

【受診者数の算出方法】

〇マンモグラフィ併用検診：当該年度内にマンモグラフィを実施し、二次読影を終えた件数

〇視触診要精検：当該年度内に視触診要精検となり、委託料を支払った件数

【プロセス指標※の算出方法】

〇要精検率＝要精検者数/受診者数×100　　〇精検受診率＝精検受診者数/要精検者数×100

〇早期がん割合＝早期がん/がん発見数×100　　〇がん発見率＝がん発見数/受診者数×100

〇陽性反応適中度＝がん発見数/要精検者数×100

※プロセス指標とは…がん検診精度管理指標のひとつ。がん検診事業は大まかに受診者の募集、スクリーニング、精密検査への誘導、精密検査、事業評価のプロセスに分かれているが、プロセス指標は各プロセスが適切に行われているかを評価するための指標。

精度管理指標と基準値（40−69歳　連続受診者がいることを考慮）

要精検率	6.8%以下
精検受診率	90.0%以上
がん発見率	0.29%以上
陽性反応適中度	4.3%以上

【参考】旧プロセス指標（40−74歳）

要精検率	11.0%以下
精検受診率	80.0%以上
がん発見率	0.23%以上
陽性反応適中度	2.5%以上

参照：厚生労働省 令和5年6月 がん検診のあり方に関する検討会 資料

1 マンモグラフィ併用検診実施状況【令和 7 年 12 月 1 日時点】

（1） 年次別受診者数 1) 及び受診率

表 1-1 は 69 歳以下の受診実績を示したものである。令和 6 年度の受診者数は前年度比 64 人増加したが、受診率は 0.2 ポイント減少した。また、令和 7 年度(4～9 月)の受診者数は前年度の同時期と比較して 464 人減少している。初回受診者の割合は、31.7%と令和 2 年度以降 30%台で推移しており、令和 4 年度に一度前年度比 4.3 ポイント上昇したものの、そこからは減少傾向である。

表 1-2 は全年齢の受診実績を示したものである。40 歳以上全数において、令和 6 年度の受診率・初回受診者の割合ともに減少傾向である。

表 1-1 令和 3 年度～令和 7 年度（4～9 月）マンモ併用検診実績（40～69 歳）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（4 ～9月）	令和6年度（4 ～9月）
対象者数（人）	76,725	77,251	77,666	78,160		
受診者数（人）	7,107	6,952	6,839	6,903	2,770	3,234
受診率	17.3%	17.7%	17.4%	17.2%		
初回受診者数（人）	2,234	2,480	2,235	2,187		
初回の割合	31.4%	35.7%	32.7%	31.7%		

表 1-2 令和 3 年度～令和 7 年度（4～9 月）マンモ併用検診実績（40 歳以上全数）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（4 ～9月）	令和6年度（4 ～9月）
対象者数（人）	119,119	120,318	121,271	122,077		
受診者数（人）	9,060	8,945	8,753	8,714	3,546	4,049
受診率	14.1%	14.6%	14.3%	14.0%		
初回受診者数（人）	2,660	3,007	2,673	2,571		
初回の割合	29.4%	33.6%	30.5%	29.5%		

1） マンモグラフィ併用検診の受診者数は、当該の年度末までにマンモグラフィの二次読影が完了した者を計上。

（２）　年齢階級別受診者数及び受診率

過去 3 年度間のマンモグラフィ併用検診の受診者数を年齢階級別にみると、令和 4 年度～令和 6 年度全てで 50～59 歳が最多であった。

受診率において、令和 6 年度は 60～69 歳が最も高かった。また、令和 6 年度において、前年度と比較し、40 歳代、60 歳代では受診率が上がり、50 歳代、70 歳代では受診率が低下していた。

表 1-3　マンモグラフィ併用検診年齢階級別受診者数　年次推移

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
40～44歳	1,116	2,287	990	2,052	970	2,030
45～49歳	1,171		1,062		1,060	
50～54歳	1,733	2,687	1,734	2,891	1,698	2,802
55～59歳	954		1,157		1,104	
60～64歳	1,169	1,978	1,100	1,896	1,218	2,071
65～69歳	809		796		853	
70～74歳	1,215	1,659	1,072	1,596	1,016	1,495
75～79歳	444		524		479	
80歳以上	334		318		316	

表 1-4　マンモグラフィ併用検診年齢階級別受診率　年度別比較

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
40～44歳	8.3%	7.9%	7.5%	7.3%	7.4%	7.4%
45～49歳	7.6%		7.2%		7.4%	
50～54歳	10.7%	9.3%	10.5%	9.7%	10.3%	9.1%
55～59歳	7.5%		8.6%		7.8%	
60～64歳	11.6%	10.2%	10.6%	9.6%	11.2%	10.3%
65～69歳	8.6%		8.5%		9.3%	
70～74歳	9.7%	7.1%	9.3%	6.9%	9.5%	6.5%
75～79歳	4.1%		4.5%		3.9%	
80歳以上	1.7%		1.5%		1.5%	

※受診率は当該年度の年齢階級別受診者数÷当該年度の年齢階級別対象者数で算出

図 1-1　マンモグラフィ併用検診年齢階級別受診者数　年次推移

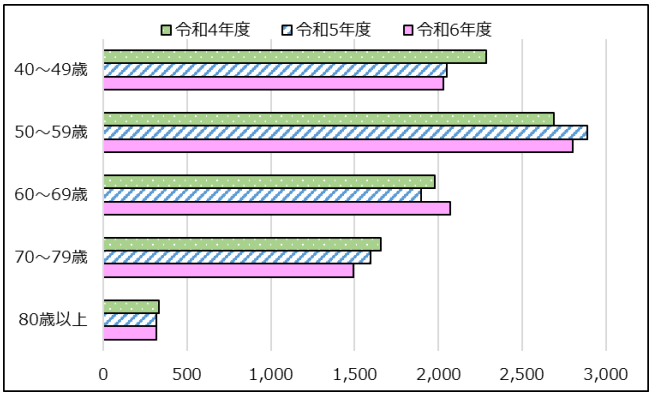
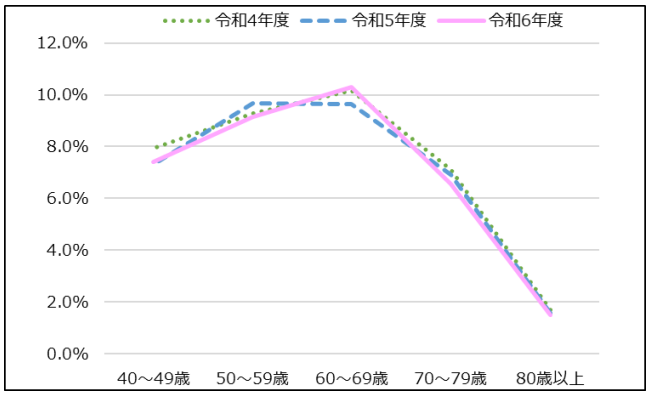


図 1-2　マンモグラフィ併用検診年齢階級別受診率　年度別比較



（3） 要精検者

令和 6 年度の要精検率は 9.5%で、前年度比 1.0 ポイント上昇しており、例年通り基準値（6.8%以下）は満たしていない。

精検受診率は例年基準値 90.0%以上を満たしており、経年的に高水準を維持している。令和 6 年度は 0.7 ポイント上昇した。

令和 6 年度のがん発見率は 0.51%であり基準値（0.29%以上）を満たしている。陽性反応適中度は 5.3%と基準値（4.3%以上）を満たしていた。

がん発見率・陽性反応適中度は 40～69 歳においても全年齢においてもどちらも上昇傾向にある。

表 1-5 令和 3 年度～令和 7 年度（4～9 月）マンモ併用検診要精検者内訳（40～69 歳）

			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（4～9月）
受診者数			7,107	6,952	6,839	6,903	2,770
要精検者数			560	693	580	659	222
要精検率			7.9%	10.0%	8.5%	9.5%	8.0%
精検受診者数			550	679	569	651	208
精検受診率			98.2%	98.0%	98.1%	98.8%	93.7%
精検結果内訳	異常なし		244	350	289	297	103
	がん		15	23	26	35	10
		早期がん（再掲）	13	19	20	22	照会中
		早期がん割合	86.7%	82.6%	76.9%	62.9%	－
	がん疑い		0	0	0	0	2
	乳腺症		62	73	47	83	25
	繊維腺腫		42	51	43	52	15
	嚢胞		137	130	122	141	41
	その他		50	52	42	43	11
未受診			2	2	2	1	0
未把握			8	12	9	7	14
がん発見率			0.21%	0.33%	0.38%	0.51%	0.36%
陽性反応適中度			2.7%	3.3%	4.5%	5.3%	4.5%

精度管理指標と基準値（40−69歳 連続受診者がいることを考慮）

要精検率	6.8%以下
精検受診率	90.0%以上
がん発見率	0.29%以上
陽性反応適中度	4.3%以上

【参考】旧プロセス指標（40−74歳）

要精検率	11.0%以下
精検受診率	80.0%以上
がん発見率	0.23%以上
陽性反応適中度	2.5%以上

参照：厚生労働省 令和5年6月 がん検診のあり方に関する検討会 資料

表 1-6　令和 3 年度～令和 7 年度（4～9 月）マンモ併用検診要精検者内訳（40 歳以上全数）

			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（4～9月）
受診者数			9,060	8,945	8,753	8,714	3,546
要精検者数			650	838	698	778	267
要精検率			7.2%	9.4%	8.0%	8.9%	7.5%
精検受診者数			640	822	684	769	249
精検受診率			98.5%	98.1%	98.0%	98.8%	93.3%
精検結果内訳	異常なし		299	426	351	361	132
	がん		19	33	35	50	14
		早期がん（再掲）	16	25	29	32	照会中
		早期がん割合	84.2%	75.8%	82.9%	64.0%	－
	がん疑い		0	0	0	0	2
	乳腺症		67	88	53	94	27
	繊維腺腫		46	61	52	60	17
	嚢胞		147	149	140	152	44
	その他		62	65	53	52	12
未受診			2	2	4	1	0
未把握			8	14	10	8	18
がん発見率			0.21%	0.37%	0.40%	0.57%	0.39%
陽性反応適中度			2.9%	3.9%	5.0%	6.4%	5.2%

【参考】プロセス指標比較〈令和4年度〉（40歳以上）

	全国	大阪府	吹田市
要精検率	5.6%	6.7%	9.4%
精検受診率	90.0%	94.5%	98.1%
がん発見率	0.37%	0.46%	0.37%
陽性反応適中度	6.6%	6.9%	3.9%

参照：国立がん研究センター　がん情報サービス
　　がん登録・統計　がん検診のプロセス指標

2 視触診要精検実施状況【令和 7 年 12 月 1 日時点】

（1） 視触診要精検者

令和 6 年度は 4 人が「がん」と診断されている。4 人すべて早期がんでの発見であった。視触診の時点でしこり等が検出されるケースが要精検となるため、陽性反応適中度は高率である。

表 2 令和 3 年度～令和 7 年度（4～9 月）視触診要精検者内訳（40 歳以上全数）

			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（4～9月）
要精検者数（人）			57	46	43	20	10
精検受診者数（人）			57	45	41	20	8
精検受診率			100.0%	97.8%	95.3%	100.0%	80.0%
精検結果内訳	異常なし		22	19	17	8	5
	がん		6	7	5	4	0
		早期がん（再掲）	4	4	2	4	0
		早期がん割合	66.7%	57.1%	40.0%	100.0%	–
	がん疑い		0	0	0	0	0
	乳腺症		5	0	3	3	1
	繊維腺腫		5	5	3	4	1
	嚢胞		15	9	8	1	0
	その他		4	5	5	0	1
未受診			0	0	0	0	0
未把握			0	1	2	0	2
陽性反応適中度			10.5%	15.2%	11.6%	20.0%	0.0%

3　乳がんであったケースの詳細【令和 7 年 12 月 1 日時点】

（1）　マンモ併用検診　　※　前回も同じ医療機関でマンモグラフィ実施

表 3-1　令和 6 年度　マンモグラフィ併用検診においてがんであった者

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

表 3-2　令和 7 年度（4～9 月）　マンモグラフィ併用検診においてがんであった者

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

（2）　視触診要精検

表 3-3　令和 6 年度　視触診要精検者においてがんであった者

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

（3）　病期分類Ⅱ以上かつ非初回者の前回受診状況

表 3-4　令和 6 年度～令和 7 年度（4～9 月）　受診の対象者

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

４　令和６年度 精度管理指標（吹田市全体）【令和７年 12 月１日時点】

表 4-1　受診状況

	読影数（人）	要精検者数（人）※1	要精検率	精検受診者数（人）	精検受診率	がん発見数	早期がん（再掲）	早期がん割合	がん発見率	陽性反応適中度
令和6年度	8,714	778	8.9%	769	98.8%	50	32	64.0%	0.57%	6.4%

※1　一次読影、二次読影いずれかにおいて、カテゴリー3 以上と判定した数

表 4-2　カテゴリー

		二次					総計
		1	2	3	4	5	
一次	1	6,771	140	130	10	0	7,051
	2	245	779	49	3	1	1,077
	3	51	23	462	9	0	545
	4	2	0	5	25	2	34
	5	0	0	0	2	5	7
総計		7,069	942	646	49	8	8,714

表 4-3　乳房構成分類

		二次				総計
		高濃度	不均一	散在性	脂肪性	
一次	高濃度	87	49	6		142
	不均一	14	1,978	518	7	2,517
	散在性	1	268	5,228	86	5,583
	脂肪性		6	111	355	472
総計		102	2,301	5,863	448	8,714

⇒

乳房構成分類の一致率
87.8%

5　マンモグラフィ実施医療機関別受診状況【令和 7 年 12 月 1 日時点】

表 5　令和 5 年度～令和 7 年度（4～9 月）　マンモグラフィ実施医療機関別受診状況
個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。